



あけましておめでとござい
ます。皆様にとつて、ご健勝で
幸多き年になりますようお祈
りいたします。日頃は地区活
動へのご助言、ご協力に心より
感謝いたします。



町会連合会長
新村 芳男

新年のご挨拶



新村の人口・世帯数
平成 30 年 1 月 1 日現在
人口 3,237 人
世帯数 1,287 世帯

昨年 11 月に実施したまちづ
くりアンケートは、75%を超え
る回答率となり意識の高さに
感銘しました。新村の地域づ
くりを進めるための大事な声
聞くことができました。皆さん
の声を力強い後押しにして、あ
たらしの郷協議会「地域振興
部会」を中心にまちづくりの
指針を考えてまいります。

また、大地震を想定した
平日の防災訓練では、隣組長
さんだけの安否確認活動が
難しいことがはつきり解りま
した。取り残さ
れる方が一人もで
ない安否確認方
法を考えるなど、
災害時の対応、
備えに取り組ん
でまいります。

いつまでも安心
して、心地よく住
み続けられるよう
に地域づくりを進
めていきたいと思
います。

第43回元旦マラソン



成年のスタート！

1月1日(月) 清々しい天
気のもと、新村農村広場で行
われ、約50名が参加しました。
農村広場の周回コースを1
周しながらも充実感に満ちた
表情で、新たな年をスタート
させました。



上新西町会



下新南町会

伝統行事三九郡



根石町会・安塚町会



下新北町会

八束穂

お正月、元
日元旦、何気
なく毎年使っ
ているこれら
の言葉の意味
を改めて調べ
てみた▼お正
月とは、本来
は1月その
ものを指し、

1日から31日までを正月とし
た。現代では三が日もし
くは松の内を正月としてい
る説や、元々松の内が1月
15日までだったことから15
日とする説や、1月20日説
など諸説あり、地域によつ
てばらばらである▼「元日」
は年の最初の日を指し、1
月1日のこと。「元旦」の「旦」
は始まりを意味する字であ
り、「元」は一日の始まりを
表す言葉で、すなわち朝で
ある。したがって元旦とは
元日の朝のことになる▼旦
の字をよくみてみると日に
一と書き、旦の下線は地平
線を表し、上の日は太陽を
表していることから、地平
線の上に太陽が昇る様子を
字におこしたとされている。
旦という字はまさに日の出
を表した文字だ。一年の計
は元旦にあり。充実した日々
を送りたいものです。

歳末の安全のために

歳末警戒の初日にあたる12月26日(火)消防団第11分団(山田幸夫分団長)は新村公民館駐車場にて、菅谷市長ら理事者の激励を受け、歳末警戒をスタートさせました。



菅谷市長ら消防団員を激励する様子

何かと忙しい歳末、消防団員の頑張りに感謝して、



展示中のリニアの模型

12月13日(水)山梨県リニア見学センターで未来の鉄道を見学、31名が参加しました。リニアは超電導浮上で線路から浮いて走行し、時速は500kmに達します。実験車の見学では、車体が見えた後あつという間に通り過ぎていきました。このスピードには感動。日本の大動脈となる未来の鉄道、乗車してみたいと思つた見学会でした。

ものぐさ大学 大人の社会見学

好評の講座「第2弾」

11月30日(木)あたらしの郷協会の学びの友部会といきいき部会は「健康づくり講座(実践編)」を松本大学第2体育館で開催し、約30名が参加しました。

これは、昨年3月に松本大学の根本賢一教授(スポーツ健康学科長)を講師に迎えて開催した「健康づくり講座」の「実践編」と位置付けて開催したもので、前回座学で教わった歩き方や筋力



根本先生から歩き方を教わる参加者

トレニングの方法などを、実技を交えて教わりました。参加者からは、「実際に体を動かしながらの方がよりわかりやすく良かった」などの声が聞かれ、健康づくりの実践に繋がる有意義な時間となりました。

押し絵の「干支」づくり

12月5日(火)・12日(火)の2日にかけて、毎年恒例の「押し絵づくり教室」が開催されました。



押し絵づくり教室の様子

降旗順子先生を講師に迎えて、2018年の干支「戌」の押し絵に挑戦。「戌の表情が作り手の顔に似る」という先生の言葉通り、同じ素材を使っている、表情が微妙に異なるオンリーワン、の押し絵を作ることができました。

きれいな花と年越しを

12月26日(火)年末恒例の「お正月の生け花教室」が開催されました。



お正月に向けて準備万端

安曇野市で工房「花」を主宰されている黒木幸子先生を講師に迎え、松などを使用した、お正月を迎えるのにふさわしい生け花ができました。

私のオススメ



『明日の記憶』萩原浩著

誰だっけ? ほらあの人。横文字の固有名詞が出てこない。家の鍵かけたっけ? コンロは? ストープは? 今の私に当てはまることもある。主人公は50歳という私と同世代の営業部長。彼は若年性アルツハイマーと診断される。どんどん記憶が薄れてゆき少しずつ自分がコントロールできなくなる主人公の苦悩の描写がすばらしい。仕事上の会議の結果、連絡事項、今日すべきこと、会う人、時間、あらゆることをメモ書きにしてポケットの中に詰め込む。主人公の病気の恐怖が手に取るように分かり、それを支える妻、家族もどうやって寄り添っていけばいいのか考えさせられる。最後は妻のことまで忘れてしまいが、初めて出会った時のように恋する姿が感動的だ。私もこの先はどうなるのか? 家族なら耐えられるだろうか? 自問自答せずにはいられない一冊だ。

図書委員 土屋 まゆみ

図書コーナーの中から図書委員一押しのおすすめを紹介します。

食生活を見直す機会に

12月15日(金)に「女性の料理教室」が開催されました。「生涯骨太クッキング」をテーマに食生活改善推進協議会のみなさんの指導の下、「チキン南蛮」「切干大根のミルク煮」「大葉スープ」「牛乳わらびもち」の4品を作りました。チキン南蛮用のタルタルソースもいちから作り、短時間で手軽に出来てとても美味しかったです。家でもぜひ作ってみようと思えました。



栄養満点! 健康に! 手軽に出来てとても美味しかったです。家でもぜひ作ってみようと思えました。

気軽に楽しくニュースポーツ

11月26日(日)芝沢体育館で「第3回ニュースポーツフェスティバル」が行われ、家族連れなど、約60名が参加しました。

新たに取り入れた「タスポニー」や「シャッフルボード」など9種類のニュースポーツの体験に加え、松本大学地域健康ステーションの協力による体力診断も行われました。



パラシュットに子ども大喜び